

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	新潟県
取組市町村名 取組団体・企業名	上越市
取組の名称	食育フォーラムの開催
実施時期	11月17日（土）
取組内容	上越市と市内の食育を推進する企業・団体、行政機関、個人等で組織する「上越の食を育む会」と連携し、「食育フォーラム in 上越～学んでおいしく健やか上越の食育～」を開催しました。 「朝ごはんではじまる元気な一日」をテーマに、食育講演会や食育に関する体験、地場産物の試食販売、食育活動のパネル展示を行い、市民が食への学びを深める機会となりました。 ＜実施内容＞ ○食育講演会：公認スポーツ栄養士がアドバイス！朝ごはんで作る負けない体 ○体験コーナー：体の基礎作り応援コーナー、みそまる作り体験、減塩料理教室、おにぎりづくり体験、学校給食メニューの試食 ○地場産物の試食販売 ○ふるまい：杵つきもち、郷土料理「スキー汁」 ○食育関係団体、保育園、小中学校、行政機関の食育活動のパネル展示 ○その他：食育クイズラリー、健康相談、家族の食育レシピコンテストの応募レシピ展示、カンタン調理の紹介、保育士による食べ物ショー ○来場者数：1,690人  【公認スポーツ栄養士による食育講演会】  【体の基礎づくり応援コーナー】

【様式 2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	新潟県
取組市町村名 取組団体・企業名	妙高市
取組の名称	減塩の普及啓発
実施時期	8月～10月
取組内容	■背景 妙高市の健康課題には、①高血圧者が多く増加の傾向にあること、②脳血管疾患による死亡比が全国と比べて高いこと、③腎不全の受診件数及び医療費の増加があり、これらの疾患に共通する要因の一つに食塩の過剰摂取があります。 妙高市民の1日の食塩摂取量は男性 9.9g、女性 9.8g であり、厚生労働省が示す日本人の食事摂取基準の男性 8g 未満、女性 7g 未満を大きく上回っています。 ■目的 食塩の過剰摂取は当市の健康課題である高血圧、脳血管疾患、腎臓病等の生活習慣病に影響することから、市民が健康づくりに関心を持ち、減塩をはじめとする望ましい食習慣を定着させることで食塩摂取量の減少と生活習慣病の予防・改善を図る。 ■業務主体 妙高市健康保険課（委託先：妙高市食生活改善推進委員の会） ■業務内容 食塩摂取量の減少及び食塩の過剰摂取が影響する生活習慣病の減少を目的として、減塩商品の利用効果の紹介等を含めた減塩の啓発を行う。 ・ 食品に含まれる食塩量の展示 ・ 減塩啓発ポスターの掲示 ・ 減塩食品の試食 等 ■会場（妙高元気ポイント対象事業となるイベント会場） ① 8月5日（日） エコツアー妙高 ② 8月11日（土） 万内川砂防公園サマーフェスティバル ③ 9月15日（土） 子育てサポーター養成講座 ④ 9月29日（土） 健康フェア ⑤ 10月7日（日） 越後妙高コシヒカリマラソン大会 ■所感 これまで、うす味の定着に重点を置いた減塩運動を実施してきましたが、今度律、「減塩食品を活用した手軽でおいし減塩」の周知を中心に減塩運動をすすめました。「減塩商品も色々なのね」と関心を寄せる声が多く聞かれました。 啓発会場も、国保特定健診結果説明会から各種イベント会場に変更したことで、これまで関わりの少なかった年代のかたにも広く情報を伝えることができました。

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名	新潟県
政令指定都市名	
取組市町村名	長岡地域振興局健康福祉環境部
取組団体・企業名	
取組の名称	「災害時の食の備え」に関する普及・啓発
実施時期	平成 30 年 10 月 10 日（水）
取組内容	1 はじめに 災害が起きても「健康的な食生活が継続できる」ことを目指し、学校栄養職員が食育活動において「災害時の食の備え」について児童・生徒向けに普及啓発が展開しやすくなるよう、「食育」と「災害時の食の備え」をセットにした展開方法の一例を長岡市学校栄養職員研修会で紹介した取組を報告します。 2 研修会概要 (1) 対象者 長岡市学校栄養職員 43 名 (2) 内 容 ア 演習 災害時に困らない調理方法（バッククッキング）の体験と試食 メニュー：カレーライス イ 説明 「災害時の食の備えの進め方」について ・学校栄養職員用の説明手引書と解説用パワーポイントの紹介 【説明に用いたリーフレット（抜粋）】 http://www.pref.niigata.lg.jp/nagaoka_kenkou/1356886518740.htm 【実習の様子】 【解説用パワーポイント（抜粋）】